



2018年8月9日

株式会社SUBARU矢島工場におけるエネルギーサービスのご採用について ～完成車工場塗装ラインにおける国内初の温熱・冷熱・エア供給サービス～

日本ファシリティ・ソリューション株式会社

当社は、株式会社SUBARU群馬製作所矢島工場において、自動車の塗装ライン向けエネルギーサービス※1をご採用いただいておりますのでお知らせいたします。

本サービスは、「温める」「冷やす」を繰り返す特性のため、自動車の製造においてエネルギー消費量が最も大きい塗装工程に対し、高効率ヒートポンプを中心としたシステムを当社が導入し運用を行うものです。

自動車の塗装工程に、高効率ヒートポンプを中心としユーティリティを一括供給するエネルギーサービスを導入したのは国内で初めての事例となります。

従来の塗装工程では、燃焼系中心のシステムから必要な温冷熱の供給を行ってまいりました。このたび当社は、排熱を利用する熱回収ヒートポンプ※2、ターボ冷凍機排熱の温熱活用※3による温水を使用した蒸気レスシステム※4を採用することにより、温冷熱を一括して効率良く作りだし、各塗装工程へ供給いたします。

当社は提案した省エネ効果を確実に実現するために、排熱利用の最適化等のチューニングを継続的に行い、SUBARU様の高効率な熱運用をサポートいたします。

当社は、エネルギーのベストパートナーとしてお客さまに信頼され、喜ばれる価値を創造することで、明るく豊かな社会づくりに貢献してまいります。

以上

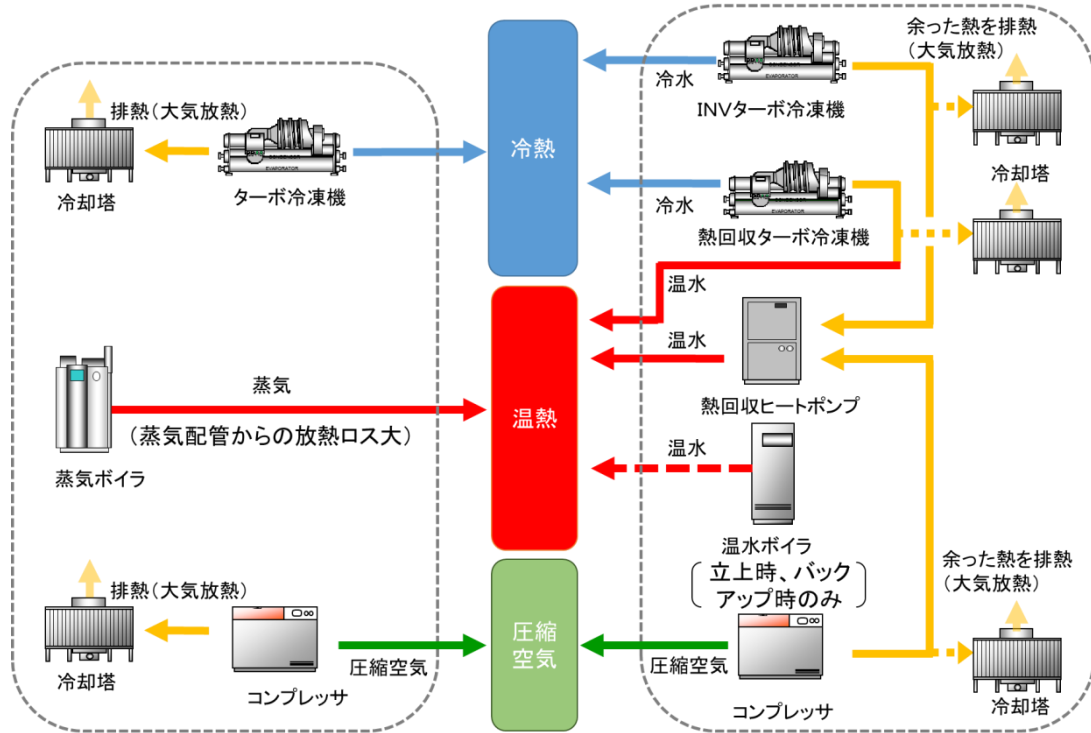
- ※1 高効率システムの導入、エネルギー管理、保守メンテナンスまでをワンストップで提供。高効率機器の導入および熱源システム等の最適な運用をサポートするサービス。
- ※2 従来は冷却塔から排出していたコンプレッサー等の排熱をヒートポンプで回収し、効率的に温熱を製造。
- ※3 冷熱をつくる際に排出した温熱を加熱工程へ利用することができる熱回収ターボ冷凍機を採用
- ※4 蒸気は配管からの放熱ロス等が大きいことから、放熱ロスが少ない温水システム（蒸気レス）を採用。また、蒸気式と比べて、腐食が少ない利点もある。

<参考>

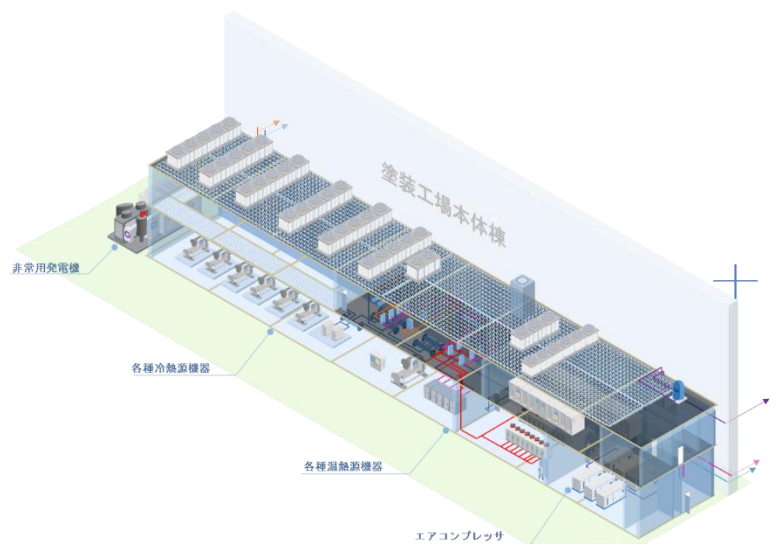
SUBARU矢島工場エネルギーサービス設備イメージ

個別熱源等システム
(イメージ)

今回採用したシステム
(イメージ)



エネルギーセンター棟外観
(写真建物右側)



エネルギーセンター棟内部
(イメージ)

以上